

令和4年度はこんなことをします

4月	● 維新[ISHIN] 40号発行 ● かごしま折々あそび展(あそび体験／第3日曜日)
5月	● 維新演劇シアター〈創作歴史コト〉公演:3回 ● かごしま折々あそび展(あそび体験／第3日曜日)
6月	● 維新演劇シアター〈創作歴史コト〉公演:2回 ● かごしま折々あそび展(あそび体験／第3日曜日) ● 歴史講座①
7月	● 維新演劇シアター〈創作歴史コト〉公演:1回 ● 夏休み親子講座(小・中学生対象) ● 維新[ISHIN] 41号発行 ● かごしま折々あそび展(あそび体験／第3日曜日)
8月	● 維新演劇シアター〈創作歴史コト〉公演:3回 ● 教職員歴史講座 ● 歴史の質問、引き受けます(小・中学生対象、毎週水曜日) ● かごしま折々あそび展(第1回常設展示～9月) ● 〃 (あそび体験／毎週日曜日)
9月	● 第15回「西郷隆盛をしのぶ 維新ふるさと館書道展」(～10月) ● かごしま折々あそび展(あそび体験／第1・2・3日曜日)
10月	● 維新[ISHIN] 42号発行 ● かごしま折々あそび展(あそび体験／第3日曜日)
11月	● 維新演劇シアター〈創作歴史コト〉公演:2回 ● 史跡めぐりバスツアー ● 歴史講座② ● かごしま折々あそび展(あそび体験／第3日曜日)

12月	● 維新ふるさと館歴史シンポジウム(演題未定) ● 維新演劇シアター〈創作歴史コト〉公演:1回 ● 維新[ISHIN] 43号発行 ● かごしま折々あそび展(第2回常設展示～2月) ● 〃 (あそび体験／第3・4日曜日)
1月	● 新春寄席 ● 維新演劇シアター〈創作歴史コト〉公演:2回 ● かごしま折々あそび展(あそび体験／第2・3・4・5日曜日)
2月	● 歴史講座③ ● かごしま折々あそび展(あそび体験／第1・3日曜日)
3月	● かごしま折々あそび展(あそび体験／第3日曜日)

※イベントなどは開催時期、内容等が変更になる場合があります。
※歴史講座やシンポジウムなどは申し込みが必要になります。

新旧歴史解説員の紹介

この度、肥後秀昭が歴史解説員を退任し、特別顧問に就任いたしました。また、佐々木幸男が後任として副館長兼歴史解説員に就任いたしました。よろしくお願いいたします。



肥後秀昭 特別顧問



佐々木幸男 副館長 兼 歴史解説員

温故地新

ふる 故きを たず ね、地 元を 新 たに。

■維新ふるさと館ホームページリニューアル！



この度、当館のホームページをリニューアルしました。今回のリニューアルでは、より見やすく、情報が探しやすい

い構成やデザインに一新しました。

また、当館ではInstagramやTwitterなどのSNSも随時更新中！イベント情報や館のプチ情報も発信していますので、ぜひご覧ください。

—— 情報紙「維新」39号 明治維新偉人クロスワード ——



答え さつまのいじん

たくさんの方にご応募いただき誠にありがとうございました。



明治維新を分かりやすく、楽しく

維新

2022 SPRING

維新ふるさと館情報紙/No.40

左から／島津久光公像、島津斉彬公像、島津忠義公像



城山の麓、雄大な桜島を臨む照国神社と鹿児島城二ノ丸庭園(探勝園)跡に、幕末から明治の日本に大きく貢献した藩主や国父など3人の銅像が建っています。

文久3年(1863)勅命により授けられた照国大明神の神号を受けて創建された「照国神社」その脇に立つ島津斉彬銅像は、大正5年(1916)年、他の2人とともに朝倉文夫によって制作されました。斉彬は、我が国初の近代的工場をもつ集成館事業を興し、薩摩の富国強兵に努めるとともに、西郷・大久保はじめ多くの人材を育てました。衣冠束帯の正装をした銅像には「贈正一位島津斉彬公之像」と彫られ、4面の台座には斉彬の興した造船、製鉄、紡績、電信、ガラスなど先進的な事業の数々がレリーフによって刻まれています。

探勝園跡には、斉彬の異母弟久光の衣冠束帯の銅像が建立され「従一位島津久光公之像」と刻まれています。久光は、嫡男の忠義が藩主となると、「国父」として藩政を後見。斉彬の遺志を継いで、朝廷を尊崇し幕政改革を進めました。お由羅騒動で複雑な感情をも

つ下級藩士に対し、斉彬は「久光は学問を好み、見聞の広さと記憶力は私も及ばない」と讃え、もしも自分が不在の場合に異国船が来たら藩主名代として対応せよと述べるなど、大きな信頼を寄せていました。久光のその後の活躍は兄、斉彬の遺志継承を目指していたのです。

旧二ノ丸近くに立つ西洋式軍服姿の島津忠義の銅像には「従一位島津忠義公之像」の銘があります。父・久光の後見があったとは言え、薩摩藩主として、日本初の紡績工場など集成館事業の復興や、イギリスへの使節団や留学生の派遣、パリ万博への参加など先進的な試みを次々と断行していきます。そして、最終的には版籍奉還、廃藩置県など我が国の近代化に向けての改革に重要な決断を下し、積極的な貢献をしました。

太平洋戦争で供出されながらも危うく難を逃れ、元の場所に再建された3体の銅像は、現在の我が国や世界の状況、郷土鹿児島の姿をどのような思いで眺めているのでしょうか。

(文責・維新ふるさと館 肥後秀昭)

イベント 維新演劇シアター スタート!

毎年好評いただいている「維新演劇シアター」が今年も5月3日(火・祝)スタートします。この演劇は、史実に創作を織り交ぜた現代風歴史物語を、役者扮する鹿児島ゆかりの偉人たちが、身近にわかりやすく語る“創作歴史コト”です。

今年度は年間として14回の上演を予定しています。演目は根強い人気のものから新作まで、様々なテーマで上演予定です。

時空を超えて明治維新を楽しく体感できる充実した内容で、お子様から大人の方まで年齢を問わず、物語の中の一員として楽しく学べます。

維新ふるさと館で明治維新の時代へタイムスリップしてみませんか?皆様のお越しを心よりお待ちしております。



上演スケジュール(2022年上期)

【西郷さん洪沢さん〜パリ万博道中記〜】

5月3日(火・祝)・4日(水・祝)・5日(木・祝)、
6月19日(日)・26日(日)(5回)

【小松帯刀の〜家老はつらいよ〜】

7月3日(日)、8月14日(日)・
21日(日)・28日(日)(4回)

〈上演時間〉

上演日の12:30~13:00(30分間)

〈会場〉

維新ふるさと館 地階「維新体感ホール」



イベント 令和4年度も開催!折々あそび展

令和2年度からご好評いただいている「かごしま折々あそび展」。2月19日(土)~3月21日(月)に開催された本企画展も、八重桜に向かって飛び立つ鶴や流し雛など、春を感じる折り紙展示が数多くならび、土日は鹿児島弁のお話し会やうさぎ雛のおりがみ体験会など、多くの来館者に楽しんでいただきました。

今年度は8月6日(土)~9月19日(月・祝)開催予定の企画展に加え、毎月第3日曜日に「折々あそび体験会」を開催します!鹿児島の四季折々の文化を、折り紙や昔遊びを通じてさらに多くの方々に感じていただけます。詳しくは右記スケジュールをご確認ください。



〈体験時間〉開催日の13:00~16:00(事前申込不要・随時対応)

〈場所〉維新ふるさと館1階 あそびでみやんせコーナー

4/17

おりがみあそび体験
(端午の節句、島津兜)

5/15

むかしあそび体験
(こままわし)

6/19

おりがみあそび体験
(七夕飾り)

7/17

おりがみあそび体験
(六月灯、金魚すくい)

8/7

むかしあそび体験
(紙とんぼ・ゴム銃)

8/14

ことばあそび体験
(折り本作り)

8/21

おりがみあそび体験
(イルカ)

8/28

ことばあそび体験
(折り本作り)

9/4

ことばあそび体験
(折り本作り)

9/11

むかしあそび体験
(紙とんぼ・ゴム銃)

9/18

おりがみあそび体験
(妙円寺参り、島津兜)

8/6(土)~9/19(月・祝)は
企画展を開催!折り紙やパネルで
鹿児島の歴史や、夏と秋の文化を
紹介します。
企画展期間中は毎週日曜日に
体験会を実施します!

イベント 歴史講座 開講!

2月から延期された歴史講座を3月14日(月)に実施し、総勢63名の受講者にお越しいただきました。今回のテーマは「日露交流と漂流民」~ゴンザとソウザを中心に~。世界最初の露和辞典をつくった薩摩の若き漂流民ゴンザにスポットをあて、肥後歴史解説員の面目躍如たる解説で、参加者は皆熱心に聞き入っていました。「ゴンザの残した古い鹿児島弁のロシア語の話や表現が面白い」といった感想が寄せられ、大変ご好評をいただきました。

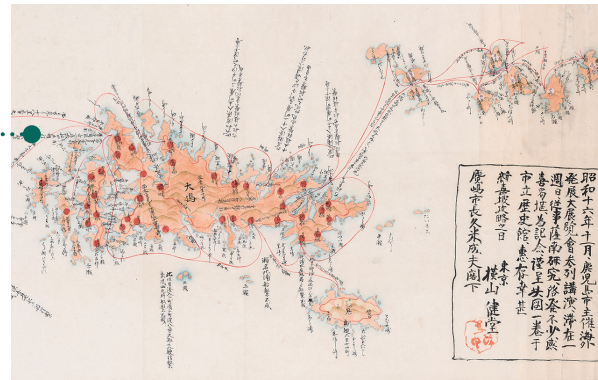
第1回は6月24日(金)・25日(土)に「電信の父にして、近代外交の祖~寺島宗則」を開催予定です。皆様のご参加をお待ちしております。



展示 常設展示 一部リニューアル

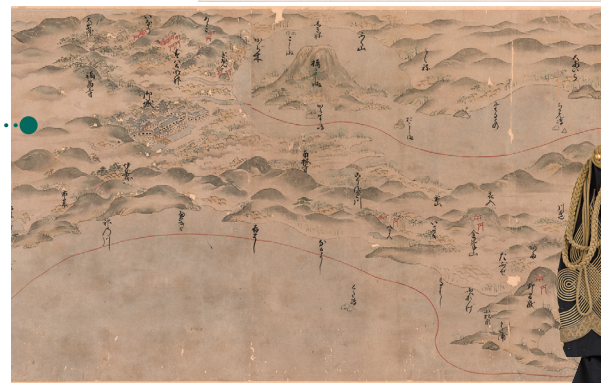
琉球古図

南島の研究家であった東京の横山健堂(本名・達三)は、大正2年(1913)沖縄に招かれて「薩摩と琉球」を著しました。その時、沖縄学の父と言われる伊波普猷から、この「琉球古図」を借りて写しました。地図には、北はトカラ列島の口之島、中之島から南は西表島、与那国島までの各島々の主な地名と航路、距離などが詳細に記入されています。薩摩の琉球侵攻以前、奄美大島やトカラ列島は沖縄の支配下にあったことが分かります。



大坂~鹿児島の名所旧跡絵巻

制作年代、著者などは不明ですが、大坂(大阪)以西の各国の名所旧跡や航路などが、鳥瞰図で描かれています。鹿児島への道は瀬戸内海から平戸を経由する海路です。薩摩藩領は、屋久島・種子島に始まり、大隅半島・薩摩半島の順序で描かれています。



野津道貫着用の礼服

野津道貫は、野津栄介の三男として鹿児島城下高麗町に生まれました。6歳上の兄に鎮雄(陸軍中将)がいます。精忠組に参加して、薩英戦争に初陣。戊辰戦争では鳥羽・伏見から東北・函館まで転戦し、明治4年(1871)御親兵として上京、陸軍少佐となります。明治9年には西郷従道とともにフィラデルフィア万博に参加しました。佐賀の乱・西南戦争には政府軍として従軍。その後は、陸軍上層部の一員となり、第五師団長として日清戦争、第四軍司令官として日露戦争に参加し、元帥陸軍大将となりました。



新商品のご紹介

維新ふるさとショップでは4月から一部リニューアル!

維新ふるさと館の公式キャラクターのグッズに加え、
鹿児島の伝統工芸品を利用した商品など
多数の新商品を販売しています。ぜひお立ち寄りください。



①桜島ポストカード 各100円

②桜島モクモクティッシュケースS 各990円

③鹿児島県の偉人絵はがき 各154円

④大島紬を使用したアクセサリ 4,000円~

⑤〈ジオラマ〉西郷どん(かごしま) 990円

⑥〈切絵〉西郷隆盛(さくら) 1,650円

⑦桜島の椿油20ml 770円

⑧屋久杉箸おき 1,650円

⑨屋久杉コースター 各1,100円

⑩日本史リブレット人71 西郷隆盛 880円

⑪真空マグボトル 各1,800円 (すべて税込)